

沼津市が目指す将来の都市像は・・・

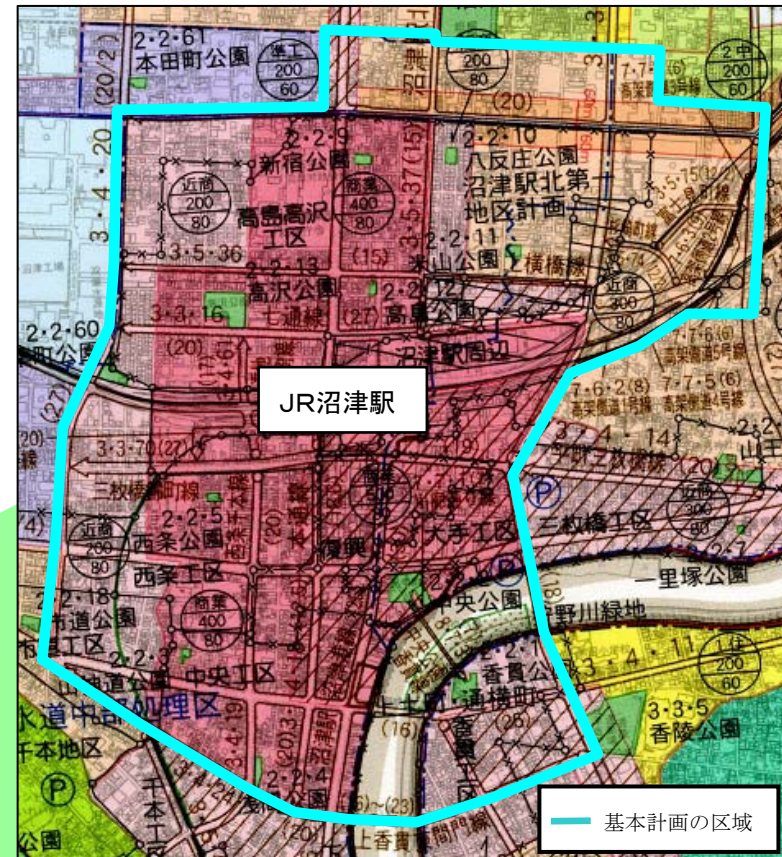
沼津市中心市街地活性化基本計画の概要

人が輝き、まちが躍動する交流拠点都市・沼津

【第3次沼津市総合計画】

沼津駅を中心とする地区を「広域都心の機能を担い、人・物・情報の交流の要となる地区」と位置づけている

計画期間:平成21年12月から平成27年3月
対象区域:沼津駅を中心とする約227ha



将来像実現に向かう基本方針

- ・ 広域拠点都市にふさわしい **魅力ある都市機能の集積**
- ・ 多様なライフスタイルに応える **便利で快適な居住環境の創造**

交流

定住

目標1 交流人口の拡大

・ 中心市街地の歩行者自転車通行量
75,112人(H21年度) ⇒ 76,700人(H26年度)
約2%増加

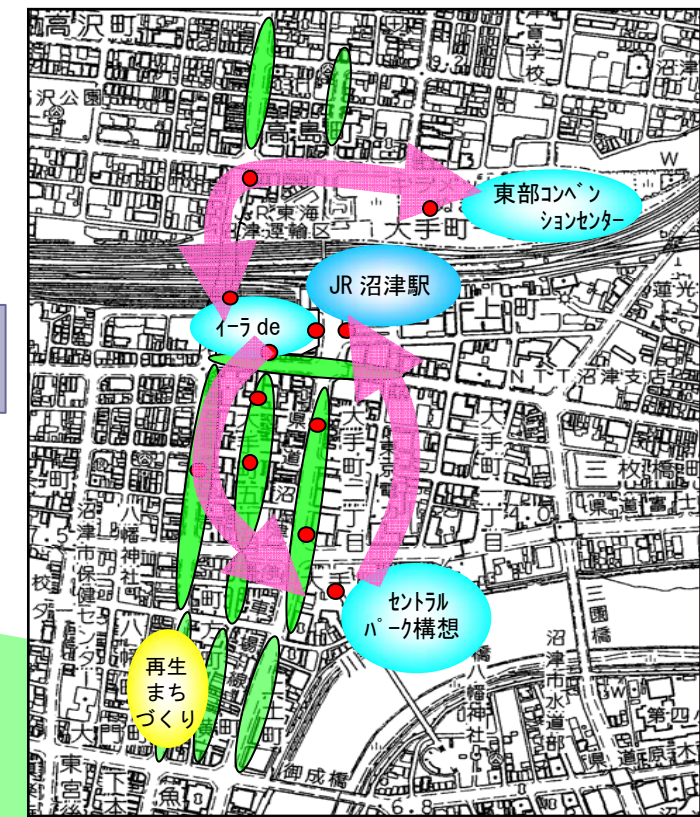
* 補助指標
・ 多目的展示イベント施設の利用者数
421,000人(H21年度) ⇒ 500,000人(H26年度)
約19%増加

目標2 定住人口の確保

・ 中心市街地の居住人口
22,357人(H21年度) ⇒ 23,850人(H26年度)
約6.5%増加

中心市街地活性化基本計画

回遊性向上の考え方



重点的に取り組む戦略は・・・

- ◆ **うるおいとゆとりを感じる回遊性の高いまちづくり**
⇒ 沼津駅周辺総合整備事業の推進
⇒ セントラルパーク構想推進
⇒ 既存商業地の魅力向上
⇒ 沼津港界隈との連携強化
⇒ 交通ネットワークの充実
- ◆ **コンベンションの振興**
- ◆ **まちを楽しみ快適にする多様な市民活動の推進**

将来の都市像に向かって
中心市街地が担う役割は・・・

- ・ 静岡県東部120万広域圏の都心
- ・ 富士箱根伊豆を結ぶ交流拠点
- ・ 便利で快適な都心居住の場

この役割を踏まえた
中心市街地の目指す将来像は・・・

人が輝き躍動するステージ

この一方で中心市街地は、現状、次のような課題を抱えている・・・

- ・ 相対的拠点性の低下
- ・ 人口減とサービス提供機能の低下
- ・ 建物の老朽化や交通環境の悪化